

2025 年 NPO 法人 北海道総合地質学研究センター通常総会

2025 年 5 月 17 日(土)13 時 30 分~15 時 00 分 エルプラザ研修室 2

総会次第 開会

理事長挨拶

議長ならびに議事録署名人の選出(議長候補:星野, 議事録署名人候補:高波, 岡村)

審議

第1号議案 2024 年度事業報告および決算

第2号議案 2025 年度事業計画および予算

第3号議案 定款の改正

第4号議案 2025 年度役員選任

その他

閉会

- 特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センターの 2024 年事業年度は 2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までである。
- 総会開催日における会員数は以下の通りである。正会員 19, 一般会員 26, 院生・学生 会員 1, 賛助会員 0, 全会員数 46 である。
- 定款第 26 条により, 正会員総数の 2 分の 1 以上の出席により総会は成立する。
- 定款第 27 条により, 総会の議事は, この定款に規定するもののほか, 出席した正会員の過半数をもって決し, 可否同数のときは議長の決するところによる。
- 定款第 28 条により, IT・ネットワーク技術を活用することによって, 正会員はオンラインにより総会に出席し表決することができる。
- 定款第 28 条により, 総会に出席できない正会員は, あらかじめ通知された事項について書面若しくは電子メールをもって表決し, または他の正会員を代理人として表決を委任することができる。この規定によって表決した正会員は総会に出席したものとみなす。
- 2024 年度役員等一覧 (2025 年 3 月 31 日 時点)

理事長:宮下純夫, 副理事長:中川 充. 専務理事:嵯峨山 積, 岡村 聡, 関根達夫, 石崎俊一

理事: 岩間唯史, 川村信人, 君波和雄, 松田義章, 岡 孝雄, 高波鐵夫, 宮坂省吾.

監事:在田 一則, 加藤孝幸.

幹事 (内規に基づき, 理事長の指名により, 正・副理事長および専務理事とともに幹事会を構成):星野フサ

「総合地質」編集委員会:宮下純夫 (委員長), 君波和雄, 松田義章, 岡 孝雄 (副委員長), 岡村 聡 (副委員長), 田近 淳.

第一号議案：2024 年度事業報告

1. 会員動向

正会員 19 名，一般会員 25 名 (+6)，学生院生会員 2 名 (+1)，賛助会員 1 名 (合計 47 名) (2025 年 5 月 17 日 一般会員+2 (賛助会員と学生院生会員からの変更))

メルマガ会員 47 名 (9 名増加)

2. 会員の研究活動・交流に関する活動

- 1) 5 月 13 日 特別講演会 小林哲夫 鬼界カルデラ 40 年の研究でわかってきたこと 会場参加 21 名，オンライン 6 名，エルプラザ研修室
- 2) 6 月 8 日 第 6 回論文輪読会オンライン開催 6 名
- 3) 7 月 6 日 第 21 回研究セミナー・第 10 回会員交流会 かでの 2・7 760 会議室，会場 16 名，オンライン 2 名 (うち 3 名非会員)
- 4) 11 月 11 日 第 22 回研究セミナー・第 11 回会員交流会 エルプラザ 会場 16 名，オンライン 2 名
- 5) 12 月 25 日 総合地質 8 巻発行：総説 1 編，論説 2 編，自由投稿 1 編
- 6) 2025 年 2 月 14 日 第 7 回論文輪読会オンライン開催 4 名
- 7) 3 月 15 日 第 23 回研究セミナー・第 12 回会員交流会 エルプラザ 会場 18 名，オンライン 3 名

3. 社会貢献・アウトリーチに関する活動

- 1) 日本衛生動物学会総会特別講演：北海道 2 億年の成り立ち，4 月 20 日 講師：川村信人
- 2) 6 月 22 日 第 14 回公開講座：山はどうしてできるのか (講師：宮下純夫，42 名，かでの 2・7 920 会議室)
- 3) 9 月 30 日 第 15 回公開講座：地震予知を考える-能登半島地震を経験して- (講師：高波鐵夫，36 名，かでの 2・7 730 研修室)
- 4) 12 月 2 日 第 16 回公開講座：北海道 2 億年の成り立ち (講師：川村，53 名，かでの 2・7 730 研修室)
- 5) 日比谷高校 SSH 事業 講師派遣 9 月 30 日 (講師：川村信人)
- 6) 多摩高校研修旅行：胆振東部地震の岩盤崩壊見学会，10 月 8 日 講師：岡・関根)

4. 情報発信・広報活動

- 1) HP による主な情報発信
 - 4 月 1 日 総合地質 7 巻 1 号掲載
 - 4 月 8 日 2024 年総会及び特別講演会の開催案内
 - 5 月 11 日 2024 年総会配布文書公開
 - 5 月 15 日 第 14 回公開講座詳細を HP に掲載
 - 5 月 15 日 第 15 回公開講座日程を HP に掲載
 - 5 月 16 日 第 6 回論文輪読会案内掲載

5月22日 2023年度 HRCG 公的公開文書の公開
 5月24日 第14回公開講座チラシ公開
 5月27日 HRCG 通信第13号公開
 6月1日 第21回研究セミナー・第10回会員交流会案内掲載
 6月25日 第21回研究セミナー・第10回会員交流会のプログラム掲載
 6月30日 公告・公開文書頁に第14回公開講座の事業収支報告を掲載
 6月30日 第14回公開講座の報告を公開
 7月1日 フォーラムページに新しい記事掲載
 7月22日 関連イベントに HRCG 共催ジオ・ツアー「古俱知安湖を巡る」掲載
 7月29日 第15回公開講座の詳細を掲載
 7月31日 2023年度年報を掲載
 8月8日 第22回研究セミナー・第11回会員交流会案内掲載
 8月10日 **スライドショー**のインデックスページ作成 (Google Map 上に表示)
 9月7日 会員提供コンテンツページの追加
 9月8日 関連イベントに日高山脈ネイチャーセミナー「サンゴの沢ジオサイト見学」
 9月20日 第22回研究セミナー・第11回会員交流会プログラム掲載
 9月23日 共催巡検の報告掲載
 10月1日 スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業への講師派遣の報告掲載
 10月3日 第15回公開講座報告掲載
 10月9日 **会員フォトギャラリーを開設**
 10月12日 フォーラムページに君波会員の「エッセンシャルワークとしての地質調査」
 10月13日 第16回公開講座の詳細と宣伝パンフレット掲載
 10月17日 HP のサイト表示テーマ機能を追加
 11月4日 サイト障害情報
 11月14日 多摩高校の現地案内者派遣報告掲載
 12月9日 第16回公開講座報告掲載
 2025年1月11日 第23回研究セミナー・第12回会員交流会案内掲載
 1月11日 2025年度公開講座日程掲載
 1月14日 **道新記事紹介**
 1月25日 総合地質8巻1号掲載
 2月1日 ウェブサイトの構成変更
 2月3日 第7回論文輪読会オンライン開催(4/12)案内
 2月8日 フォトギャラリーがスマホ対応
 2月12日 2025年通常総会の案内掲載
 2月26日 フォトギャラリーの構成変更

2) HRCG 通信の発行

HRCG 通信 第14号 2024年5月27日

3) ニュースレターの配信

5月27日 ニュースレター 71号
7月9日 ニュースレター 72号
8月14日 ニュースレター 73号
9月16日 ニュースレター 74号
11月12日 ニュースレター 75号
2025年1月22日 ニュースレター 76号
2月22日 ニュースレター 77号
5月10日 ニュースレター 78号

5. 幹事会：今季は下記のように9回幹事会を開催した（全てオンラインにて開催）。

第1回幹事会：2024年5月29日 13時～15時
第2回幹事会：7月7日 13時～15時
第3回幹事会：8月7日 13時～15時
第4回幹事会：9月2日 13時30分～14時30分
第5回幹事会：10月24日 13時～14時50分
第6回幹事会：12月27日 13時～15時
第7回幹事会：2025年2月11日 10時～11時10分
第8回幹事会：3月10日 10時～12時
第9回幹事会：4月30日 10時～11時30分

（4月4日に第9回を予定していたが理事長緊急搬送・入院のため延期）

6. 会計決算及び監査報告（別紙）

第二号議案：2025年度事業方針

1. 会員の研究活動・交流に関する活動

- 1) 年間4回前後の研究セミナー・会員交流会・特別講演会の開催
5月17日（本日）：特別講演会
7月～8月：研究セミナー・会員交流会
10月：研究セミナー・会員交流会
1月～3月：研究セミナー・会員交流会
- 2) 年間2回程度の論文輪読会

第7回 4月12日実施（オンライン）

第8回 7～8月予定（オンライン）

3) 総合地質 9巻の発行

10～11月頃に刊行・HPへの掲載を目指す

2. 社会貢献・アウトリーチに関する活動

1) 公開講座は3回実施する

・第17回公開講座： 6月21日（土）午後、かでの2.7 730 研修室

講師：宮下「地球温暖化と近未来の地球」

・第18回公開講座： 9月6日（土）午後、かでの2.7 730 研修室

講師：宮坂「サッポロ川物語」

・19回公開講座：12月6日（土）かでの2.7 730 研修室

講師：宮坂「フシコ川物語」（仮題）

2) その他の講師派遣・社会貢献事業

・高校の研修旅行への協力

・講師派遣（SSH 事業）

・一般人やマスコミなどからの問い合わせなどに関する対応

・野外観察会是他団体との協力・共催などで開催する。

3. 広報・情報発信活動

1) HPの随時更新と会員フォトギャラリーの充実

2) HRCG 通信の発行（会員向け）年間4回程度

3) メルマガ（ニュースレター）の発行 年間数回：HRCGの行事など

4. 2025年度予算（別紙予算書）

第三号議案：定款および内規の改正について

改正理由：本法人の実態に則したより適切な表現への変更である。

削除した後の番号は順おくりとなる。カッコ内の文章は改正理由。赤字は新規、打ち消し線は削除。

(目的)

~~第3条 この法人は、地質学に関する研究・教育・実務などの高度な創造的活動を行なおうとする者のために必要な環境を用意し、その支援を行うとともに成果の普及活動を行い、それによって純粋地質学から自然防災を含む応用的地質学など幅広い範囲におよぶ「総合地質学」の研究の推進、およびそれに基づく社会的貢献、特に一般市民の地質学に関する基礎知識の増進に貢献することを目的とする。~~

(目的)

第3条 この法人は、地質学・地球科学に関する知的探究や啓発活動を通じて、地球環境問題や自然防災、地学教育などに関する幅広い社会的問題への貢献を行うことを目的とする。

(本項は核心的な部分であるが、従来よりも簡潔にし、かつより間口を広げつつ敷居を低くすることにより、より幅広い方の参加を容易にするための改正である)

(事業)

第5条 この法人は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 特定非営利活動に係る事業

- 1 会員の研究を支援する活動
- 2 会員の研究成果の発表・出版を支援する活動
- 3 会員の地質学・地球科学に関する専門知識の普及活動
- ~~4 本法人としての研究・調査活動~~
- ~~5 本法人の研究・調査活動成果の発表・出版活動~~
- 6 地質学・地球科学に関する交流事業
- ~~7 地質に関する書籍・物品・情報などゝの斡旋・販売事業~~
- ~~8 地質に関するコンサルタント事業~~
- 9 その他目的を達成するために必要な事業

(個人の研究・調査活動は奨励されるが、法人の事業として研究・調査活動を行ったことはなく、同様に実態に合わない事業を削除して、より事業内容を明確化するための改正である)

(入会)

第7条 会員は地質学・地球科学に関する創造的活動を行う知的探究や啓発活動を行う意志がある者、あるいはそれに関心を有する者とする。

(本会の目的の項に準じた改正である)

(報酬等)

~~第18条 役員は、その総数の3分の1以下の範囲内で報酬を受けることがで~~きる。

~~2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することがで~~きる。~~3 前2項に関~~し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(基本的にボランティア組織なので、報酬という形は発生しないので、削除する。事務経費などは当然計上される)

(職員)

~~第19条 この法人に、事務局長その他の職員を置くことがで~~きる。

~~2 職員は、理事長が、任免する。~~

(現状そして近い将来においても職員を雇用することは想定されないので削除する)

(職員の項目が削除されるなら、第4章 役員及び職員は第4章 役員 と変更)

(権能)

第22条

総会は、以下の事項について議決する。

- (1) 定款の変更
- (2) 解散
- (3) 合併
- (4) 事業計画及び活動予算並びにその変更
- (5) 事業報告及び活動決算
- (6) 役員の選任及び解任、職務及び報酬
- (7) 入会金及び会費の額
- (8) 借入金(その事業年度内の収益をもって償還する短期借入金を除く。第48条において同じ。) その他新たな義務の負担及び、権利の放棄
- (9) 事務局の組織及び、運営
- (10) その他運営に関する重要事項

(入会金及び会費)

第8条 会員は、総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(会費に関する記述は第8条に記載されている。入会金はこれまでも徴収したことはなく、将来的に必要なとの議論もないので削除する)

内規に関する改正

1. 会員個人ウェブサイト 使用規定は削除する。(17項目もある最大の内規)

(本会のWEBサイトに個人ページを設けるとの意図のもとで設定された内規であるが、現状、誰も使用しておらず、無意味なので削除する。各個人が有しているサイトへのリンクは可能となっている)

2. ロゴを付けた名刺作成に関する内規

以下の第2条、第3条は全面削除する

~~第2条 公式名刺には他の法人等に関わる事項(学位と公的資格を除く)を掲載しない。~~

~~第3条 本研究センター会員が、公式名刺以外の名刺にロゴを付ける場合には、公式名刺のデザインに沿うものとする。また、推奨され、他の法人等に関わる事項(学位と公的資格を除く)を掲載しない。~~

(ロゴをつけた名刺の作成は大いに奨励される、本法人の構成員には退職した方が多いが、過

去の様々な履歴などを名刺に記載するかどうかは各個人の判断でなされるべきで、一律に禁止する本規定は廃止する)

第四号議案：2025 年度役員体制

理事・監事：現在の理事・監事全員を重任とし、新たに星野フサ正会員を理事に加える。

理事：岡村 聡・嵯峨山 積・中川 充（副理事長候補）・宮下純夫（理事長候補）・関根達夫・石崎俊一・岩間唯史・川村信人・君波和雄・宮坂省吾・松田義章・高波鐵夫・岡孝雄・星野フサ （14 名）

監事：在田一則・加藤孝之

幹事会は理事長，副理事長，専務理事（岡村 聡，嵯峨山 積，関根達夫・石崎俊一，星野フサ，高波鐵夫）で構成する。